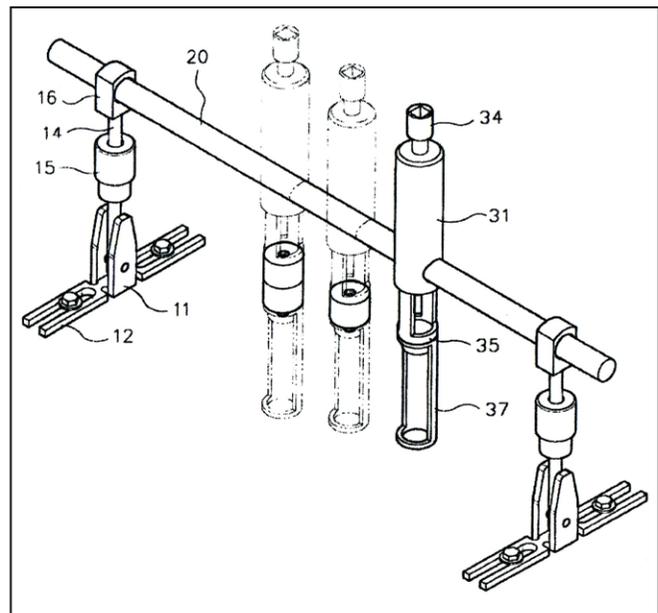
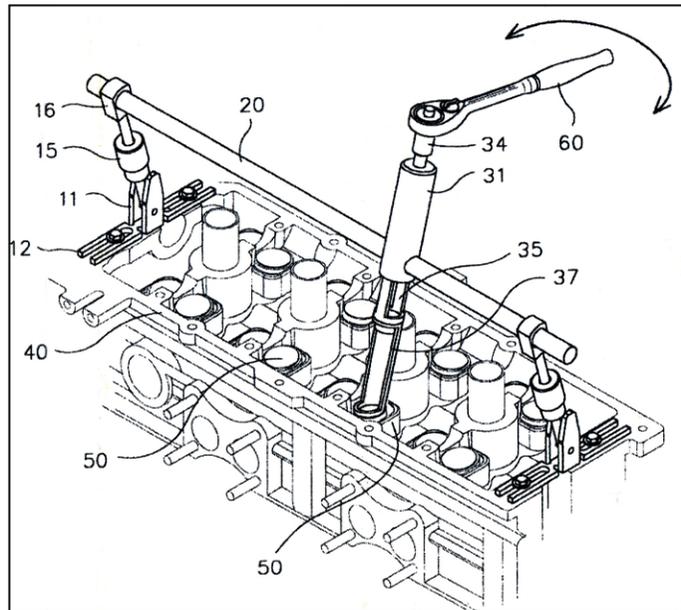


プラグホールにアダプターを取り付け、エアーを充填しバルブがエンジン内に落ちない様にシステムシールの交換作業を行います。



エンジンのヘッド上面の既存のボルト穴とボルトを使用してJTC1238本体をエンジンに固定します。

使用するエンジンのバルブ位置の角度によってバルブを押し易い様に15番のネジで全体の傾斜を調整しバルブ面に平行になる様に固定します。

37番のプッシュアダプター(バルブ押え)をエンジンと35番の間にセットします。

34番の差し込み口にラチェットを差し込み締め方向に回すとプッシュアダプター(バルブ押え37番)がバルブ側に出て行き押さえる事が出来ます。

バルブが奥まった所に有りアダプターで押し切れない場合には付属の延長アダプターを35番と37番の間に全長を延長して使用して下さい。

吸気側の1列が順次終了したら本体の角度を排気側に調整し同様の作業を繰り返して下さい。

すべての作業が終了したらアダプターに力が掛かっていない状態まで緩め、アダプター、本体を順次エンジンから取り外して下さい。